



# 質問 税金等滞納解消に向けた対策は

## 町長 督促や納付相談等、納付を促している

大垣 照子 議員

**質問** 人口減少による将来的な財政見通しが厳しくなる中、滞納放置による税金や保険料の未納は、行政の怠慢と不作為と見られ、首長や担当職員が賠償請求や、裁判所がそれを認める状況になっていく。本町における滞納解消に向けた徴収対策は。

**町長** 督促状や電話等による呼び出し、納付相談を行い納付を促している。庁舎で町税滞納整理対策本部会議を開催し、徴収状況の確認と情報共有を図り、現年度分の徴収率は、98%台を維持している。

**質問** 強制徴収公債権は法により、自治体徴収職員には自立執行権が付与され、滞納者の財産調査、家宅捜査等が認められている。これは悪質な一部の個人への滞納処分のための制度。本町での事例はあるのか。

**町長** 様々な調査をした上で、苦渋の決断をしつつ最終的な法的処分を行っている。

**質問** 滞納債権の消滅を防ぐには、時効の中断措置がある。本町においてこのような時効リセットは行っているのか。

**町長** 入金があればそこで一旦停止となり、そこから再びカウントされる。時効の中断は、把握をしながら処理を進める。

**質問** \*財力があるのに納付しない人には、徹底した徴収を。生活困窮家庭や納税の資力がない人には、生活権に関わるための対策を講じること。

学力向上と人材育成に必要な教育を

**質問** 本町における学力向上の秘策は。教育長 町が掲げる6つの学力育成策を推進し、評価と改善を行い、更に計画をしっかりと立てることだ。

**質問** 21世紀に活躍できる人材育成に必要な教育は何と考えるか。教育長 人工知能の進化が人間の仕事を奪い、学校で教えたことが通用しなくなるのではとの不安も出てくる。最終的には生きる力、人生を切り拓く力を育成する教育が必要と考えている。

**質問** 中学から高校生時代は、急激に頭が動き出すとき。自調自考を進め教育サイドが理念を持って教育を、情操教育も必要と考えるか。教育長 少子化の中で人間関係が固定化し、部活動も校らざるを得ない中で、国の方針のみでなく本町の特性を捉え多様な人間との関わりの中で、情操教育は考えていく。



ブルーシートに覆われ山積み焼却灰 (H28年12月)

**可燃物処理センターについて**

**質問** ごみ焼却場は、毎年多額の費用をかけた修繕をしている。今後の計画は。

**町長** 建設後35年が経過。プラント設備をはじめ主要機器は劣化し、突発的な補修工事が多く、計画的実施が困難な状況になっている。

**質問** 昨年12月議会で指摘した山積みの焼却灰の処分は。行ったのならデータの提出と処理費の根拠を。ここで働く人が手伝ったのなら、業者に100%支払うことはない。

**町長** 清掃した業者が薬剤による固形化した灰4,160kgを3月1日、兩川の最終処分場へ埋め立て処分し、平成28年度で324万円要した。

**質問** \*資料を予算委員会に提出を求める。